【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第４区分
【発行日】令和1年10月10日(2019.10.10)

【公開番号】特開2019-116686(P2019-116686A)
【公開日】令和1年7月18日(2019.7.18)
【年通号数】公開・登録公報2019-028
【出願番号】特願2019-22806(P2019-22806)
【国際特許分類】
Ｃ２２Ｃ　19/05　(2006.01)
Ｃ２２Ｆ　1/10　(2006.01)
Ｆ０４Ｄ　13/06　(2006.01)
Ｆ０４Ｄ　13/02　(2006.01)
Ｆ０４Ｄ　29/42　(2006.01)
Ｃ２２Ｆ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ２２Ｃ　19/05　Ｚ
Ｃ２２Ｆ　1/10　Ｈ
Ｆ０４Ｄ　13/06　Ｆ
Ｆ０４Ｄ　13/02　Ｅ
Ｆ０４Ｄ　29/42　Ｆ
Ｆ０４Ｄ　29/42　Ｇ
Ｃ２２Ｆ　1/00　６０２
Ｃ２２Ｆ　1/00　６２３
Ｃ２２Ｆ　1/00　６３０Ａ
Ｃ２２Ｆ　1/00　６３０Ｃ
Ｃ２２Ｆ　1/00　６３０Ｋ
Ｃ２２Ｆ　1/00　６３１Ａ
Ｃ２２Ｆ　1/00　６４０Ａ
Ｃ２２Ｆ　1/00　６４０Ｃ
Ｃ２２Ｆ　1/00　６４０Ｄ
Ｃ２２Ｆ　1/00　６４０Ｅ
Ｃ２２Ｆ　1/00　６５０Ａ
Ｃ２２Ｆ　1/00　６８５Ｚ
Ｃ２２Ｆ　1/00　６９１Ｂ
Ｃ２２Ｆ　1/00　６９１Ｃ
Ｃ２２Ｆ　1/00　６４０Ｆ
Ｃ２２Ｆ　1/00　６９２Ａ
Ｃ２２Ｆ　1/00　６９２Ｂ
Ｃ２２Ｆ　1/00　６９４Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和1年8月29日(2019.8.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】

缶であって、
フランジ部（４）と、
底部（２）と、
前記缶の装着状態において間隙内に配置され得る側壁（３）であって、ニッケル成分を含有する材料から少なくとも部分的になる側壁と、
を備えた缶（１）において、
前記材料が、５０～５５質量パーセントのニッケル、１７～２１質量パーセントのクロム、２．８～３．３質量パーセントのモリブデン、４．７５～５．５質量パーセントのニオブ、０．２～０．８質量パーセントのアルミニウム、０．６５～１．１５質量パーセントのチタン、及び残量の鉄を含有するニッケル－クロム合金であって、前記缶は硬化されていることを特徴とする缶。
【請求項２】
缶（１）を製造する方法であって、
前記缶（１）のフランジ部（４）を形成する工程と、
前記缶の底部（２）を形成する工程と、
前記缶の装着状態において間隙内に配置可能な、ニッケル成分を含有する材料から少なくとも部分的になる側壁（３）であって、成形工程によって目標形状にされる側壁（３）を形成する工程と、
を有してなる方法において、
前記材料として用いるために、少なくとも５０～５５質量パーセントのニッケル、１７～２１質量パーセントのクロム、２．８～３．３質量パーセントのモリブデン、４．７５～５．５質量パーセントのニオブ、０．２～０．８質量パーセントのアルミニウム、０．６５～１．１５質量パーセントのチタン、及び残量の鉄を含有する、溶体化焼鈍された状態のニッケル－クロム合金が選択され、熱処理による硬化が成形の後に行われることを特徴とする方法。